

社協だより

編集と発行/社会福祉法人 田子町社会福祉協議会

電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp

- すくすく館上郷分館夏祭り 1
- 平成28年度事業報告 2、3
- 平成28年度決算 4
- いきいき通信 5
- 赤い羽根共同募金のお知らせ 6



みんなでつくる夏祭り ～すくすく館上郷分館夏祭り開催～

田子町社会福祉協議会では学童保育を実施しています。
 8月12日、すくすく館上郷分館にて今年で3回目となる夏祭りを開催しました。毎年夏休みになるとみんな楽しみにしている上郷分館オリジナルの夏祭りは、開催の2週間前から“みんなで作り上げる、みんなで楽しむ夏祭り”をテーマに中・高学年が中心となって話し合いや制作が始まります。3回目ともなると楽しいアイデアがいっぱいで、準備から期待が膨らんでいました。
 当日は子どもたちが店の売り子となって、ヨーヨーすくいや射的、かき氷屋さん等、6つの店が出店されました。かき氷屋さんは自分で氷を砕いたり、シロップを選んでトッピングを工夫したりと、自分だけの『アイデアかき氷』を食べながら会話が弾んでいました。
 また、1番人気だった射的は、みんなで持ち寄った水鉄砲で行いました。上からいろいろな大きさや長さでつるされた数字的のを水鉄砲で撃ち、子どもたちは当たった番号のお菓子をもらっていました。
 「みんなで楽しいことまたやりたいなあ～」と話す子どもたちの笑顔が忘れられない1日となりました。



自分だけのかき氷作り！

この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

田子町社協の1年

※平成28年度に実施した主な事業のみ掲載しています。

法人の運営

◆会議の実施

・理事会	3回	・正副会長会議	9回
・評議員会	3回	・幹部会議	10回
・監査会	2回	・各種委員会	4回

福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員（53名）を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラシ配布など本会と地域とのパイプ役として多大な協力を頂きました。また、本会事業に対する理解を深めるため、福祉協力員を対象とした研修会を開催しました。

ふれあい・いきいきサロン

身近な地域における集いを広げ、閉じこもり予防、仲間づくりを通し地域住民のネットワークづくりの支援をしました。（サロン参加者一人当たり300円の助成を行いました。）

- ・25か所で37回実施
- ・延参加者数 693名



雀ヶ平ふれあいサロン

移送サービス事業

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難または移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象に移送サービスを行いました。

- ・稼働日数 218日
- ・延利用件数 1,008件

配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や障害者の方で、自分で料理をすることが難しい方に栄養バランスのとれた食事を提供し、ボランティアの協力を得ながら安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

- ・稼働日数 311日
- ・延食数 5,830食

心配ごと相談事業

民生委員4人を相談員として委嘱し、毎月第3火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。また、定期的相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間3回設けたほか、日常の相談については随時事務局で対応しました。

- ・延相談利用者数 54名

低所得世帯の援助

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金等の相談を行い、世帯の自立援助に努めました。

- ・生活福祉資金の貸付 2件
- ・たすけあい資金の貸付 6件
- ・フードバンク提供回数 10回

社会福祉大会の実施

町民の福祉意識の高揚と、地域福祉の推進を図るために、第50回田子町社会福祉大会を開催しました。



式典の様子

児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう。町内の各校を福祉協力校として指定し、活動の支援を行いました。

- ・上郷小学校 高齢者疑似体験
- ・田子高校 保育ボランティア 等

台風10号災害に伴う被災地支援

青森県社会福祉協議会の要請を受けて、台風10号災害に伴う被災地へ職員を派遣し、ボランティアセンターの運営支援を行いました。

- ・派遣先 岩手県岩泉町
- ・派遣員数 2名



小本サテライトの様子

共同募金運動の実施

青森県共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関のご協力いただきました。

- ・赤い羽根共同募金総額 1,361,398円

福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会を開催しました。

- ・田子町老人クラブ連合会
- ・田子町身体障害者福祉会
- ・田子町手をつなぐ育成会
- ・田子町共同募金委員会

老人福祉センター管理事業

町からの指定管理者として、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。また、利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修の支援を行いました。

- ・開所日数 245日
- ・延利用者数 10,959名

学童保育事業の実施

保護者が就労等により日中家にいない児童を対象に、放課後や学校が休みの日に保護者と児童が安心して利用できる居場所を提供しました。

- ・延利用児童数

すくすく館	11,578名 (定員70名)
田子分館	2,871名 (定員20名)
上郷分館	2,709名 (定員20名)



3館合同交流会

子育てサロンの実施

子育て中の保護者や子育てに関わっている方とその乳幼児を対象に、親子の交流、情報交換やリフレッシュの場を提供し、子育て支援を行うために学童保育施設「すくすく館」を活用して子育てサロンを実施しました。

- ・実施日数 80日
- ・延利用世帯数 264世帯

居宅介護支援事業

ケアマネジャーが利用者や家族の問題を解決する為に、最適な介護サービスを利用できるよう、介護保険に関する相談・手続・介護計画（ケアプラン）作成を行いました。

- ・契約件数 165件
- ・計画作成延件数 1,405件

訪問介護事業

高齢者など介護を必要とするお宅にホームヘルパーが訪問し、入浴・排せつなどの「身体介護」や掃除・洗濯などの「生活援助」のサービスを行いました。

- ・介護給付 実利用者数48名 延訪問回数 3,290回
- ・予防給付 実利用者数 4名 延訪問回数 111回
- ・障害福祉サービス 実利用者数 5名 延訪問回数 413回

通所介護事業

介護が必要となった高齢者の方を、せせらぎの郷1階のデイサービスセンターまで送迎して、レクリエーションや昼食、入浴のサービスを行いました。

- ・介護給付 実利用者数97名 延利用件数 6,476回
- ・予防給付 実利用者数 6名 延訪問回数 133回
- ・障害福祉サービス 実利用者数 1名 延訪問回数 103回

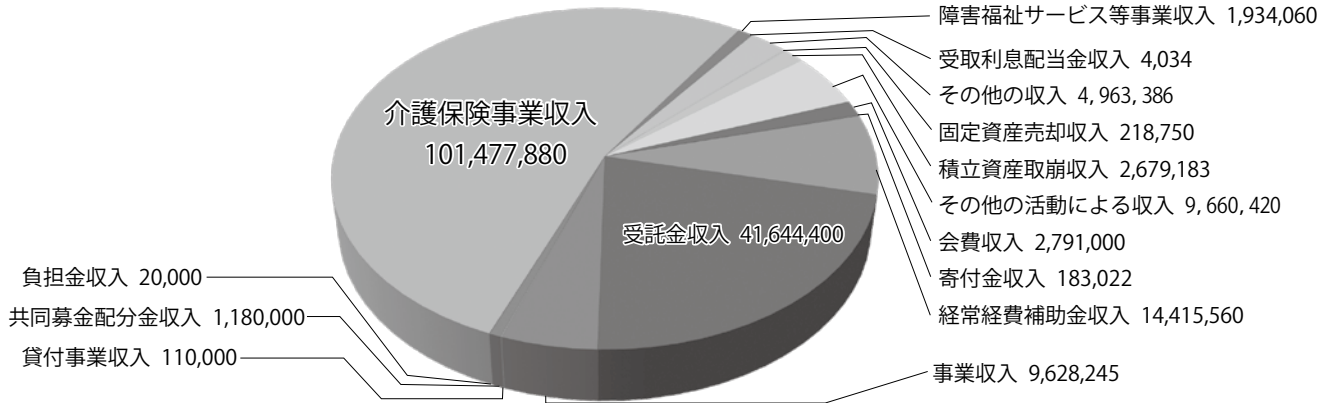


平成28年度決算



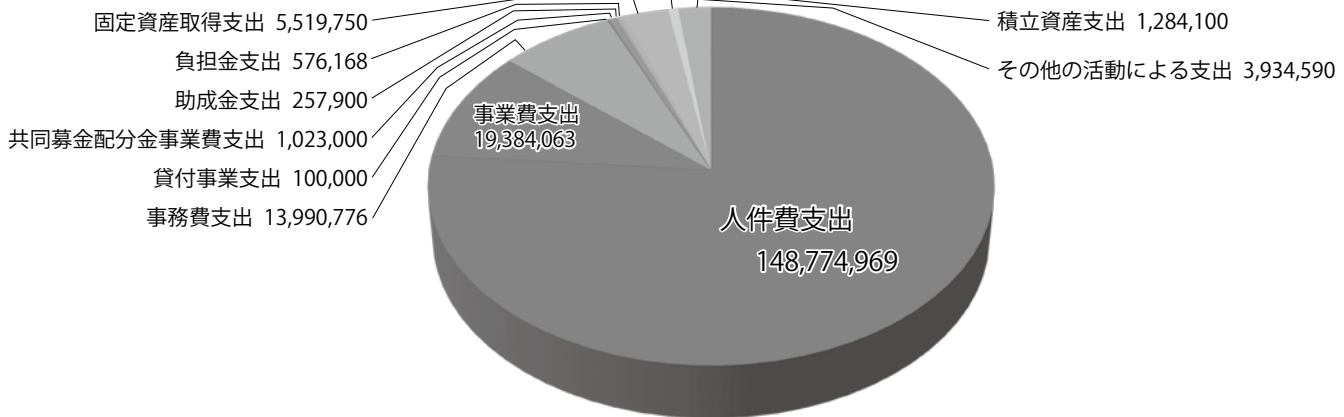
▶収入の部

(単位：円)



▶支出の部

(単位：円)



平成28年度貸借対照表



科目		金額 (円)	科目		金額 (円)
資産の部	流動資産	114,851,698	負債の部	流動負債	26,560,192
	現金預金	84,862,761		事業未払金	1,873,674
	有価証券	1,000		その他の未払金	3,650,400
	事業未収金	15,804,422		未払費用	20,277,049
	未収金	12,746,955		職員預り金	709,069
	未収補助金	1,436,560		前受金	50,000
	固定資産	181,109,769		固定負債	82,083,172
	基本財産	1,000,000		退職給付引当金	82,083,172
	基本財産特定預金	1,000,000		負債の部合計	108,643,364
	その他の固定資産	180,109,769		基本金	1,000,000
	建物附属設備	219,073	基本金	1,000,000	
	機械及び装置	5,792,459	基金	11,000,000	
	車両運搬具	6,352,468	福祉基金	11,000,000	
	器具及び備品	6,134,211	その他の積立金	77,337,505	
	権利	516,751	人件費積立金	30,325,000	
	貸付事業貸付金	161,000	車両購入積立金	41,001,505	
	退職手当積立基金預け金	58,782,540	特殊浴槽購入積立金	6,011,000	
	退職給付引当資産	13,813,762	次期繰越活動増減差額	97,980,598	
	福祉基金積立資産	11,000,000	次期繰越活動増減差額	97,980,598	
	人件費積立資産	30,325,000	(うち当期活動増減差額)	△1,116,691	
車両購入積立資産	41,001,505	純資産の部合計	187,318,103		
特殊浴槽購入積立資産	6,011,000	負債及び純資産の部合計	295,961,467		
資産の部合計	295,961,467				

おめでとうございます！



表彰を受ける小笠原氏

7月7日、五戸町立公民館で開催された三戸郡社会福祉大会において、以下の方が功績を称えられ表彰されました。(敬称略)

【民生委員】

小笠原昭治 高館一男 関本あや子 山市礼子

【社会福祉団体・社会福祉施設及び社会福祉協議会役職員】

上山貢 古川茂 五十嵐潤 西田アツ子

【社会福祉事業協助者】

滝川啓子 野月地区ほのぼのの会会長 井上節子

介護予防体操をとりいれてスッキリ！



いつもはやらない運動に興味津々

7月31日、せせらぎの郷ホールにてサロンリーダー研修会を行いました。今回は町健康増進課と共催で行い、田子診療所リハビリテーション科作業療法士の小村英之氏を講師に介護予防体操を学びました。

当日は各地区のリーダーを中心に18名の方が参加し、普段の生活のできるストレッチから、少し頑張っって普段使わない部位を動かす運動などを1時間ほどかけて行いました。ひざの痛み予防などのお話も混ぜながらの研修にリーダーの方々からは「サロンに参加してくれる皆さんと一緒にやりたい」との声が聴かれました。

暑さの中はつらつプレー



みんなで記念撮影

8月25日、新郷村立新郷中学校にて第39回三戸郡老人スポーツ大会が行われました。田子町からは7月に行った老人クラブレクリエーションで一度全競技を体験し、出場を希望した32名が参加しました。

他町村には大会に向けて練習をしていくほど熱心な町もあるなか、田子町は怪我のないよう安全第一で和やかな雰囲気でした。

最終結果は5位でしたが、個人入賞も多くあり、参加した皆さんは、暑い中はずつとしたプレーを見せていました。

地域福祉活動計画作成中



県社協からの研修を受けました

8月31日、せせらぎの郷において第1回田子町地域福祉活動計画作成委員会が開かれました。

地域福祉活動計画は、住民主体を基本とした地域の福祉課題の解決に向けた取組みの行動計画であり、今年度はその見直しの年となっています。現在、見直しにあたり、9月には計画に反映させるためのアンケートも実施いたしました。ご協力いただいた方々には御礼申し上げます。

なお、本計画は今年度中に策定予定であり、策定が済みましたら広報でご報告いたします。

新役員（理事・監事）・評議員のご紹介

社会福祉法の改正に伴い、新たな役員・評議員が選任されましたので紹介します。

【理事 10名】任期：平成29年6月26日～平成31年6月

会長 築田 尚久（学識経験者）
副会長 築田 重身（学識経験者）
中村 康孝（学識経験者）
理事 原 靖之（学識経験者）
川村 武司（町自治会連合会会長）
宇藤 安貴子（ボランティア活動団体）
小笠原 昭治（民生委員児童委員協議会会長）
高館 誠（社会福祉事業経営団体）
中澤 一郎（町担当課長）
尾形 憲男（町議会議員）

【評議員 21名】任期：平成29年4月1日～平成33年6月

（民生委員児童委員協議会の構成員 4名）
大久保 雅範、坂本 和男、滝上 壽也、大羽澤 正
（福祉団体・ボランティア団体構成員 6名）
松橋 敬子、菊地 ヨシエ、大野 雪男、山市 忠男、
山美 知子、土川 尚子
（自治会構成員・地域福祉活動参加者 9名）
中沢 誠、田村 重文、井上 節子、一ノ渡 尚武、
沢田 八十、白澤 英子、山崎 文子、田沼 寛子、
上斗米 正代
（社会福祉事業経営団体 2名）
新藤 稔、中村 見俊

【監事 2名】任期：平成29年6月26日～平成31年6月

森 榮子（学識経験者） 佐々木 福夫（学識経験者）

※太字は新任、（ ）は選出区分等、順不同・敬称略

赤い羽根共同募金運動にご協力お願いします！

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。10月に入ってから福祉協力員（募金ボランティア）の方が募金のお願いに伺いますので、ご協力をお願いいたします。

共同募金は寄付金が集まってから使い道を決める募金ではなく、あらかじめ使い道の計画を立てて行う計画募金です。今年集まった募金では以下の事業の実施を計画しています。（平成30年度実施予定）

29年度目標額 1,240,000円

- ・社協だよりの発行
- ・福祉協力校（町内の小中高）への助成
- ・社会福祉大会の開催
- ・弁護士による専門相談の実施

..... まちがいさがし

2つの絵には違う所が7つあるよ。全部わかるかな？



<正解はこのページの一番下にあります。>

募金の詳しい使い道については「赤い羽根データベース はねっと」をご覧ください。

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>